



## 垣内 伸彦 (かきうち のぶひこ) 教授

1940年（昭和15年）名古屋生まれ

### 学歴

1960年4月	名古屋大学入学
1962年4月	名古屋大学理学部数学科進学
1964年3月	名古屋大学理学部数学科卒業
1964年4月	名古屋大学大学院理学研究科修士課程入学
1966年3月	名古屋大学大学院理学研究科修士課程修了

### 職歴

1966年4月	愛知大学教養部講師
1974年4月から	愛知教育大学非常勤講師
1976年3月まで	
1980年4月	愛知大学教養部助教授
1986年4月	名古屋大学教養部非常勤講師（常微分方程式、その他担当）
1989年4月から	名古屋工業大学教養部非常勤講師
1993年3月まで	
1998年4月	国際コミュニケーション学部に移籍
2002年4月	愛知大学教授（現在に至る）
2005年12月から	学部長・理事就任
2008年3月まで	

## 教育研究業績

著書、学術論文等の名称

《学術論文》

On the Characteristic Classes of Micro-Bundles	单著	1966年2月	名古屋大学（修士論文）
Plissの結果について	单著	1979年2月	『京都大学数理解析研究所講究録』370
Periodic Orbits of Some kinds of Periodic Systems	单著	1985年11月	『Dynamical systems and Nonlinear Oscillations』World Scientific Publishing Co Pte Ltd.
3階 Duffing型方程式の有界性について	单著	1988年5月	『一般教育論集』愛知大学教養部
実関数の芽としての超実数の構成	共著	1988年12月	『南山経営研究』3巻3号 南山大学
On another type of ducks in the FitzHugh-Nagumo equations	共著	1994年4月	『京都大学数理解析研究所講究録』1034
On a Duck solution and Delay in the FitzHugh-Nagumo Equations	共著	1996年11月	『京都大学数理解析研究所講究録』984
On the explicit duck solution and delay in the FitzHugh-Nagumo equations	共著	1997年12月	『Journal of Differential Equations』Vol.141,No.2
On the existence of a duck solution and delay in the FitzHugh-Nagumo equations	共著	1998年2月	『一般教育論集』第14号 愛知大学教養部
On Standard Ducks and Delay in the FitzHugh-Nagumo Equations	共著	1999年3月	『The Report of Tokyo University of Fisheries』No.34
無限小領域における特異現象の解析に威力を発揮する超準解析学	共著	1999年3月	『日本ファジー学会誌』Vol.11, No.1

《プレプリント》

On the winding numbers of duck solution in the FHN Equations (Revised Version)	共著	1997年12月	
Solutions of Differential Equations and Nonstandard Analysis	共著	1999年3月	
Solution of Differential Equations	共著	2005年10月	
Existence Theorem of Duck Solutions	共著	2007年4月	
Solutions of Differential Equations and Non Standard Analysis	共著	2009年8月	

《教育業績》

私立大学・短期大学の現状と問題	共著	1992年12月	『平成4年度全国私立大学白書』全国私立大学白書委員会
人文・社会系大学における情報教育サービスに関する実践的研究	共著	1994年7月	『一般教育論集』第7号 愛知大学教養部

《学会発表》

2次元多様体上の Dynamical System について	単独	1967年7月	『力学系シンポジウム』京都大学
Plissの結果について	単独	1979年7月	『力学系シンポジウム』京都大学
3階 Duffing型方程式の有界性について	単独	1980年12月	『力学系シンポジウム』中津川研究所
周期解に関する J.Sinaiの方法について	単独	1984年8月	『力学系ワークショップ』

Periodic Orbits of Some Kinds of Periodic Systems	単独	1985年7月	『京都大学 『力学系ワークショップ』 京都大学
Solution-Ducks と Non Standard Analysis	単独	1993年11月	Non Standard Analysis シンポジウム
On the existence of duck solutions and delay in the FHN Equation	共同	1995年11月	Non Standard Symposium ブルガリア
On an Analytic Duck solution in the FitzHugh- Nagumo Equation	共同	1996年8月	国際学会（ブルガリア） Plovdiv Technical University
On a duck solution and delay in the FitzHugh-Nagumo Equation	共同	1996年11月	「関数方程式の構造と 方法」京都大学
On another type of duck solution in the FHN Equation	共同	1997年8月	The Eighth International Colloquium on Differential Equation 東京
Constrained System 上の2種類の構造安定性	共同	1997年9月	日本数学会秋季総会
On the winding numbers of duck solutions in the FHN equation	共同	1997年9月	日本数学会秋季総会
Fitzhugh-Nagumo 方程式における Duck 解の回転数について	共同	1997年11月	京都大学数理解析研究 所
A new approach to the Non Standard Analysis	共同	2003年9月	国際学会（アルジェ）
Rapid Course of Seamless Introduction to Non-Standard Analysis	共同	2005年3月	Spring Seminar ラロシュール大学（フ ランス）
ポリノミアルシステムにおけるリバーの存在について	共同	2005年9月	Non Standard Symposium 鈴鹿青少年センター
Duck 解の存在定理	共同	2007年8月	NSA シンポジウム 丸亀